

## 公立大学法人広島市立大学中期目標

### 目次

はじめに

第1 中期目標の期間

第2 教育研究等の質の向上に関する目標

第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標

第4 財務内容の改善に関する目標

第5 自己点検、評価及び情報の提供に関する目標

第6 その他業務運営に関する重要目標

はじめに

公立大学法人広島市立大学は、「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」という建学の基本理念の下、自主性及び自律性が発揮できる公立大学法人制度の利点を生かしながら、国際学、情報科学、芸術学及び平和学という特色ある学部、研究科及び研究所の構成を生かした教育研究を推進し、豊かな人間性と確かな社会性を備える有為な人材の育成に取り組んできた。また、本市との連携などにより様々な成果を社会へ積極的に還元し、「国際平和文化都市の「知」の拠点ー地域と共生し、市民の誇りとなる大学ー」を目指した取組を進めてきた。

今日、地方創生の推進、グローバル化及びデジタル化の進展、新型コロナウイルス感染症の感染拡大とそれに伴う社会の変容など、大学を取り巻く社会経済環境が複雑化し刻々と変化する中で、公立大学法人広島市立大学においては、高等教育研究機関としての使命を果たすための教育研究の質の向上に加え、地域社会の活性化及び持続的発展並びに平和の創造に貢献する人材並びに複雑化する国際社会において活躍できる人材の育成などが、より一層重要な課題となっている。

このため、公立大学法人広島市立大学が、これまでの取組を基本としつつ、こうした社会経済環境の変化に対応する取組を着実に推進するよう、広島市長は、次に掲げる重点指針に基づき中期目標を定める。

<重点指針>

- 1 国際学、情報科学、芸術学及び平和学という特色ある学部、研究科及び研究所の構成を生かしながら、広島広域都市圏の大学、企業等との連携を深め、

更なる質の向上を目指した教育研究を行うとともに、広島広域都市圏で活躍する人材の育成並びに都市圏の活性化及び持続的発展に貢献する。

- 2 広島広域都市圏の大学と連携し、平和に関する教育研究の世界的な拠点形成を追求して、平和の創造に向けた取組を推進することにより、グローバルな構想力を育て、世界平和に貢献する。
- 3 グローバルな視点に立った教育研究の推進により、総合的に思考する能力を身に付け、複雑化する国際社会で活躍できる人材を育成するなど、大学の国際化を推進する。
- 4 教育研究及び財務情報の分析等を通じたマネジメント体制の確立、DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進等により、公立大学法人制度の利点を生かした戦略的、機動的かつ効率的な大学運営を推進する。

## 第1 中期目標の期間

令和4年4月1日から令和10年3月31日までの6年間とする。

## 第2 教育研究等の質の向上に関する目標

### 1 教育研究及び地域・社会貢献

#### (1) 教育

##### ア 教育内容の充実

各学部及び研究科における質の高い教育を行うとともに、幅広く深い教養、総合的な判断力及び確かなコミュニケーション能力を培い、豊かな人間性かん養するため、各学部及び研究科の枠を越えた幅広い教育を行う。

学部専門教育では、国際学、情報科学及び芸術学という特色ある学部構成を生かした教育を行い、地域や社会の課題解決及び発展に貢献する専門人材を育成する。

大学院教育では、国際学、情報科学、芸術学及び平和学という特色ある研究科及び研究所の構成を生かした教育を行い、高度な専門知識と高い課題解決能力を身に付けさせるとともに、地域や社会の課題解決及び発展に貢献する高度専門人材及び研究者を育成する。

また、地域や社会の未来を切り開く人材を育成する教育を行う。

##### イ 教育方法等の改善

新型コロナウイルス感染症への対応経験を踏まえ、オンライン及びデータベースの活用等による教育のデジタル化及び学外機関との連携等を通じた学修者本位の教育を行うとともに、教育の質の向上を図る。

また、そうした学びを支えるために、附属図書館での取組を含め、必要な教育学習環境の整備を行う。

さらに、学生が自主的かつ主体的に学習に取り組むことができる機会を提供する。

#### ウ 学生の確保

優秀な学部学生並びに社会人及び留学生を含めた意欲のある優秀な大学院生の確保に向けた取組を積極的に進める。

#### エ 学生への支援

全ての学生が心身ともに健康で充実したキャンパスライフを送ることができるよう、学習環境、生活環境、健康管理、課外活動等、様々な面で支援の充実を図る。

また、学生自らが、社会の中に自分の役割を見いだし、自分らしい生き方を実現するための力を身に付けるとともに、やりがいを持って働く生き方について考え、行動できるよう、入学時からのキャリア形成に関する支援及び広島広域都市圏の企業との一層の連携強化等による就職支援の充実を図る。

### (2) 研究

教員それぞれの独創性ある研究を推進するとともに、国際学、情報科学、芸術学及び平和学という特色ある学部、研究科及び研究所の構成を生かした研究、企業や学外研究機関等と連携した研究並びに地域や社会の課題解決及び発展に寄与する研究を積極的に進める。

また、研究の質の向上を図るとともに、積極的な公開等により、研究成果を地域や社会に還元する。

### (3) 地域・社会貢献

広島広域都市圏で活躍する人材の育成等に向けた取組の充実を図るとともに、広島広域都市圏の市町、企業、大学等と連携した都市圏の活性化、課題解決及び持続的発展につながる地域貢献活動を積極的に進める。

また、地域連携推進体制の充実等を通じて、地域・社会貢献機能の強化を図る。

さらに、リカレント教育を含む生涯学習を支える取組の更なる充実を図る。

## 2 平和

都市づくりの最高目標となる都市像に「国際平和文化都市」を掲げる本市が

設立した大学として、平和に関する教育研究を積極的に推進する。

また、広島大学旧理学部1号館に整備する平和に関する「知の拠点」において世界的な視点に立った平和教育研究を推進する。

### 3 国際化

多様性を尊重し、幅広い視野を持って行動できる人材を育成するための教育を行う。

また、オンラインの活用を含めた海外大学との国際交流を積極的に実施するとともに、留学生への支援の充実を図る。

## 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標

### 1 戦略的、機動的かつ効率的な運営の実施

理事長（学長）のリーダーシップの下、中長期的かつ経営的な視点から、教育研究活動、外部資金、資産活用状況等のデータを根拠とするマネジメント、各種業務におけるDXの推進等による戦略的、機動的かつ効率的な大学運営を実施する。

また、上記の大学運営を推進する人材の確保及びその育成並びに研究支援体制等の充実を図る。

### 2 社会に開かれた大学づくりの推進

教育研究成果の積極的な広報及び大学ブランドの向上に向けた戦略的な情報発信の強化により、社会に開かれた大学づくりを推進する。

## 第4 財務内容の改善に関する目標

### 1 自己収入の増加

教育研究環境を向上させるため、科学研究費、受託研究費等の外部資金の積極的な獲得に向けた支援及び大学所有財産の利活用等に取り組み、自己収入の増加を図る。

### 2 運営経費の見直し

質の高い教育研究が継続的に推進されるよう、経営的な視点から、人員配置を含め、コスト意識を持ちながら大学運営に関する各種経費の見直し及び効率的な執行を図る。

## 第5 自己点検、評価及び情報の提供に関する目標

自己点検、自己評価及び第三者機関による評価を定期的実施するとともに、その結果に基づく大学運営の改善に努める。また、評価に関する情報を積極的に公開する。

## 第6 その他業務運営に関する重要目標

### 1 施設及び設備の適切な維持管理等

快適なキャンパス環境を確保するため、既存の施設及び設備の適切な維持管理及び計画的な改修を行う。

### 2 安全で良好な教育研究環境の確保

学生及び教職員の安全衛生管理の徹底並びにハラスメント防止等の人権及び法令遵守に関する意識の向上を図るとともに、災害等の不測の事態に適切に対応できる体制及びメンタルヘルス対策の充実等に取り組むことにより、学生及び教職員が安心して学び、働くことができる良好な教育研究環境を確保する。

### 3 ダイバーシティの推進

女性教員の積極的な採用に向けた活動の充実等、ダイバーシティを着実に推進する。